



月2回のお米

コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。
毎月第2・第4木曜日 夕方発行



新潟コシヒカリ下落中

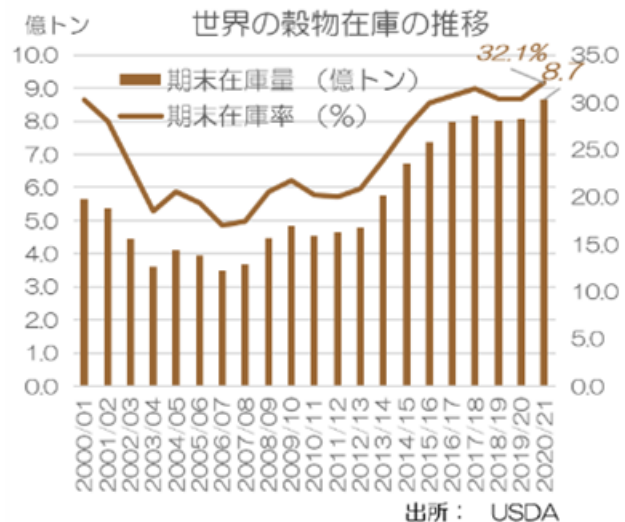
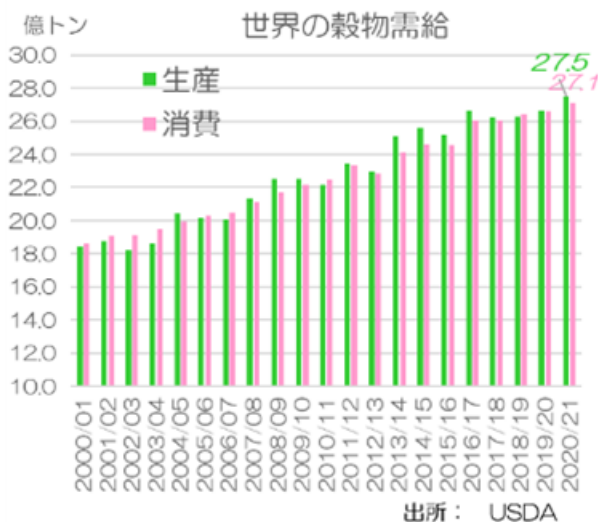
発行日 : 2020/6/12

新潟コシ [日足] 190814 - 200611



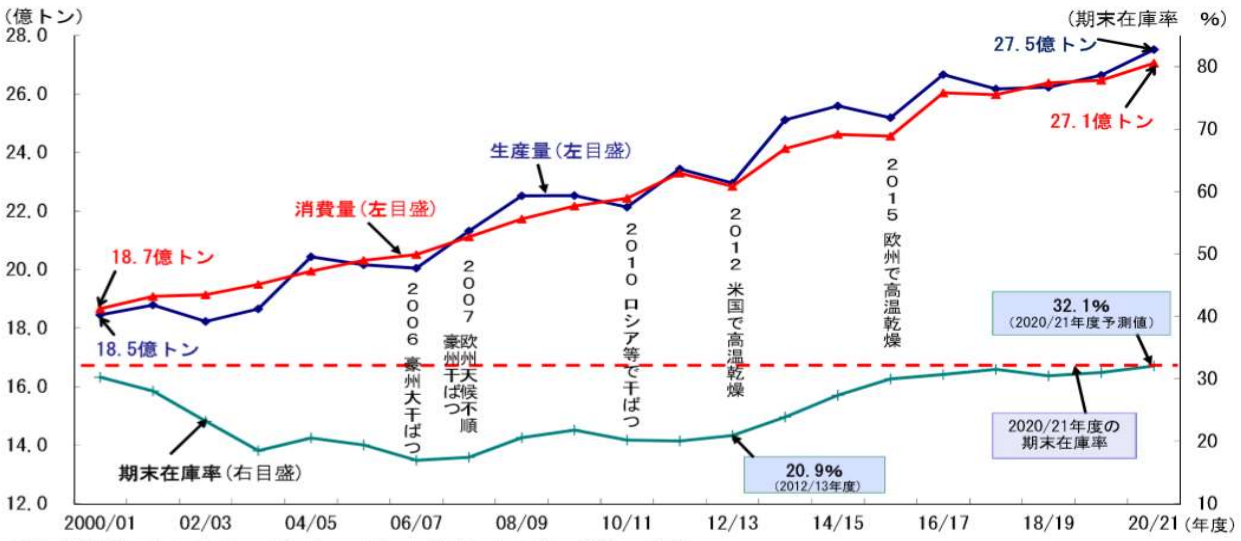
TOPICS 世界の穀物総在庫・在庫率が過去最高水準

2020年5月に更新された米農務省による「世界の穀物需給」（「World Agricultural Supply and Demand Estimates」）によると、米、大豆、コーン、小麦の全穀物の生産は27億5000万トン、消費は27億1000万トンで差し引きは4000万トンの供給過剰。期末在庫は8億7000万トンで、在庫率は32.1%の過去最高を記録した。



この発表を受け、農林水産省は5月中旬ホームページ上で、「世界の穀物需給グラフ」を作成、公開した。農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室は、「世界の穀物消費量は、途上国の人口増、所得水準の向上等に伴い増加傾向で推移。2020/21年度は、2000/01年度に比べ1.4倍の水準に増加。一方、生産量は、主に単収の伸びにより消費量の増加に対応している。2020/21年度の期末在庫率は、生産量が消費量を上回ることから32.1%となり、直近の価格高騰年の2012/13年度(20.9%)を上回る見込み」とまとめた。

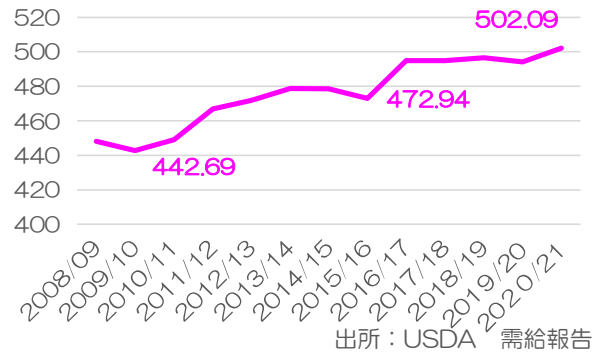
穀物(米、とうもろこし、小麦、大麦等)の需給の推移



資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」 (May 2020)、「PS&D」
 (注) なお、「PS&D」については、最新の公表データを使用している。

TOPICs 2020/21年度の世界のコメ生産量が史上初の5億トン超えに

百万トン 世界のコメの生産量推移



出所: USDA 需給報告

USDA (米農務省) が始めて発表した 2020/21年・新年度の世界コメ需給統計によると、生産が5億0196万トンで前年比+434万トン増加し、消費は4億9812万トンで同比+217万トン増加した。

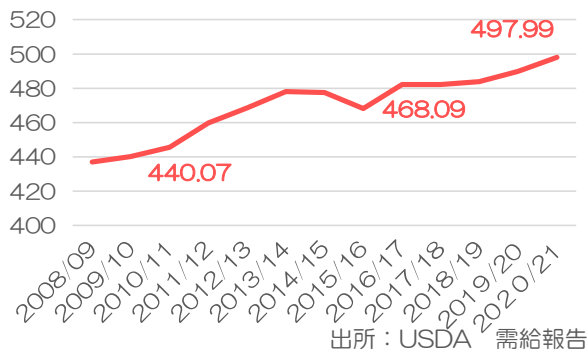
生産は、史上初の5億トン超えとなった。この結果、期末在庫は1億8418万トンとなった。輸入は4208万トン、輸出は4522万トンで、大幅な輸出過剰となったことも在庫増につながった。

消費と輸入が減少したのは、新型コロナウイルスの影響で、世界的な規模で貿易に制限がかかったことで、活発なコメを含む穀物貿易が途絶えたため。また新型コロナウイルスの影響で消費そのものも落ち込んだ可能性がある。

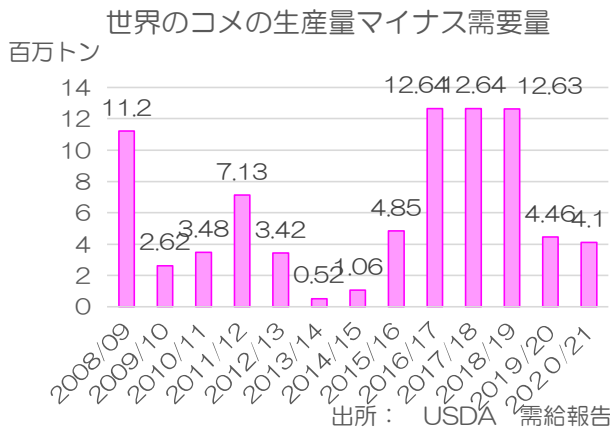
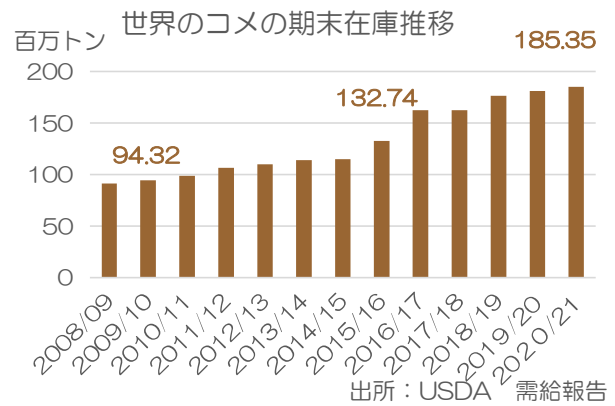
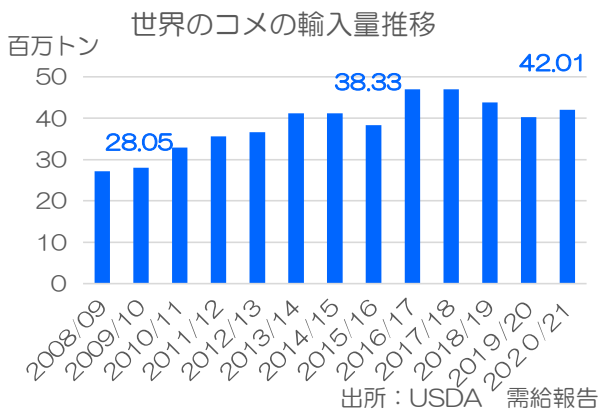
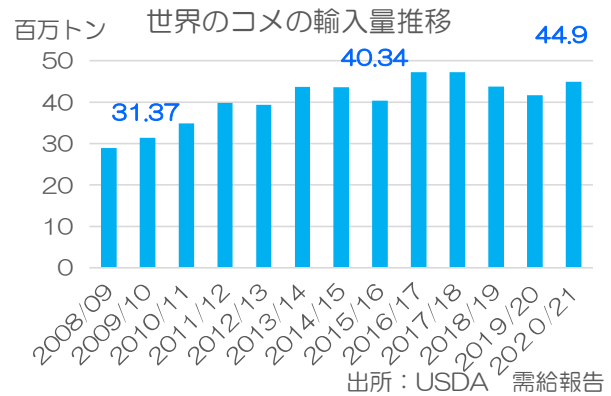
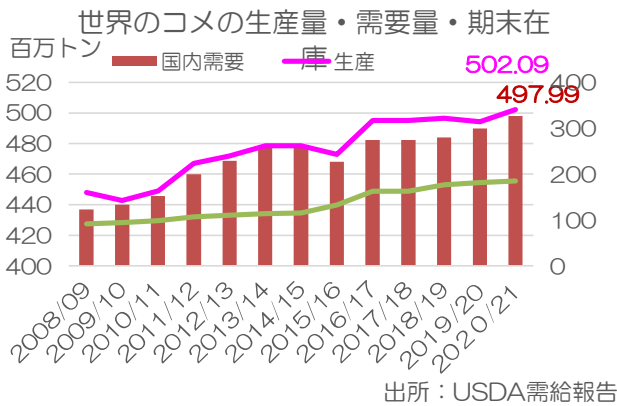
その一方、世界のコメ生産は史上初の5億トン超えとなり、ベトナムなどの一部生産国で天候不順により減産が報じられていたものの、世界全体では増えている実態が浮き彫りとなった。

コメの生産が史上初の5億トン超えとなり、在庫も史上はじめての1800万トンを突破するなど、需給が緩和している状況が浮き彫りとなっているが、これはコメだけに限らず、穀物全体でも同様にいえる状況である。これは、冒頭でも触れたとおり。

百万トン 世界のコメの国内需要量推移



出所: USDA 需給報告

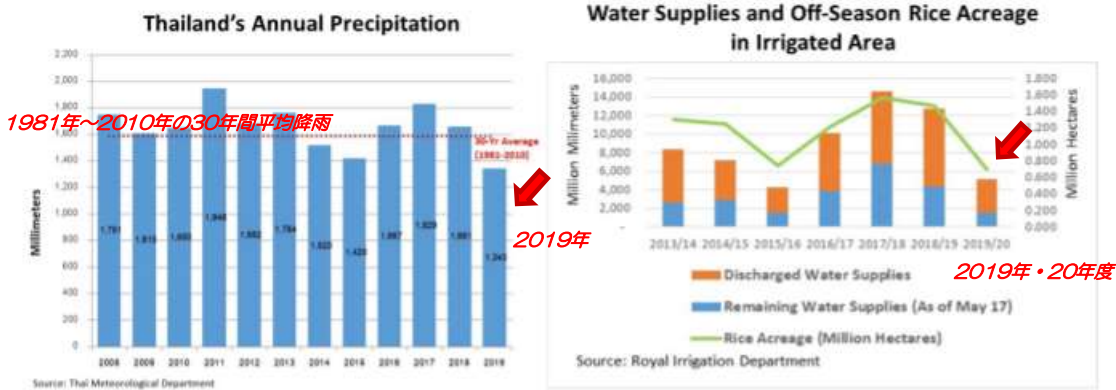


タイで5月に干ばつ模様

今年1月から5月にかけてタイでは雨量が少なく干ばつとなったため、オフシーズンのコメの生産量に大きな影響が出ている。タイにおける2020年1月～5月の干ばつによって、オフシーズンに生産するコメとトウモロコシの収量が大きく減少する見込み。水の供給が減少し、貯水池の水量も非常に少なくなっている。3月から4月にかけてコメの輸出入引き合いが増えたため、オフシーズンライスの農家出荷価格は急騰しており過去最高値に達している。オフシーズンライスの生産の減産によって2020年第1四半期の農業GDPは家畜の生産が+3.8%増だったにも拘わらず、▲4.8%の低下が見込まれている。

5月7日までのところ、干ばつにより19/20年度のオフシーズン作物の作付け面積は880万ライ（140万ヘクタール）と昨年に比べて▲36%減少したとタイ政府は見ている。コメの作付け面積はオフシーズン作物の76%を占め680万ライ（108万ヘクタール）となっており、昨年に比べ▲42%減となっている。

(図1) タイの年間降雨量と感概地域のオフシーズンのコメ作に対する水の供給量



作付面積	コメ	野外作物	合計
灌漑地帯	4.33	0.54	4.87
変化率 (%)	▲51.6%	▲8.5%	▲48.9%
非灌漑地帯	2.42	1.55	3.97
変化率 (%)	▲10.0%	▲1.3%	▲6.8%
合計	6.75	2.09	8.84
変化率 (%)	▲42%	▲3.2%	▲35.9%

干ばつの影響

2019年の降雨量が極端に少なくなった。また、オフシーズン後半に政府は貯水池の推理量が少な過ぎて（昨年の約▲64%減）、灌漑用の水を供給することができなかった。

このためオフシーズンのコメの生産量は▲42%減と見込まれている。コメの農家出荷価格は昨年同期比で20~40%上昇している。ことに白米ともち米の価格が上昇している。ベトナムとインドで新型コロナウイルスの影響で両国からのコメの輸出が一時的に禁止されたため、タイ米の輸出が旺盛となった。5月初めの白米の農家出荷価格は9年ぶりの高値となる9,600バーツ/トン（298ドル/トン）もち米は16,400バーツ/トン（487ドル）から15,700バーツ/トン（509ドル）になっている。オフシーズンライスの生産量は320万トンと見込まれ、前年比▲41%減となる。タイ米の価格は今年いっぱい高止まりすると見られている。

(図2) タイのコメとトウモロコシの月間農家出荷価格

Figure 2: Monthly Farm-gate Prices of Paddy Rice and Corn



今後の見通し

新潟コシヒカリ価格は 3月4日の16,500円から6月5日には14100円と▲2,400円、▲14.5%下落している。これは新型コロナウイルスによる社会の委縮が原因だと思われるが、これは一時的減少であり、いずれ回復するものと思われる。従ってある程度下がったところは買いではなかろうか。日本のコメの生産はこれからであり、今後台風等の襲来があるかもしれない。今年は1月以来毎月世界的に最高気温を更新しており、このまま行けば暑い夏になりそうである。水田耕作の場合は、干ばつはあまり関係ないと思われるが、タイでは灌漑の水稲栽培でも水不足の干ばつで生産が半減している。コメ価格は今後上昇する可能性の方が高いのではなかろうか。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行っており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス

〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

メールアドレス：kondo@commi.cc